

社会科学 第I学年 年間指導計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

学期	月	単元名 (教材名) (配当時間)	学習活動・内容	評価の主な観点			評価の観点規準	評価のための 判断材料
				主体的 取り組み 態度	思考・ 判断・ 表	知識・ 技能		
1 学期	4月	【歴史】 第1章 歴史との対話 (8時間)	私たちと歴史 身近な地域を調べよう さあ調査だ！	○	○	○	年代の表し方や時代区分の意義や意味について、基本的な内容を理解する。 小学で学習した人物を取り上げ、時代区分での関わりで考察して表現する。 身近な地域に関心をもち、テーマを設定して調査活動に取り組み、レポートを作成して発表を行う。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 1編 世界と日本の姿 1章 世界の姿(4時間)	1地球の姿を見てみよう 2世界のさまざまな国 3地球上の位置を表そう 4地球儀と世界地図を比べてみよう	○	○	○	・六大陸、三大洋、6州の名称と位置、大きさについて理解することができる。 ・教科書および地図帳の統計資料を活用することができる。	発表 ノート ワークシート
	5月	【歴史】 第2章 古代までの日本 1節 世界の諸文明 (8時間)	1. 人類の誕生と進化 2. 古代文明の始まり 3. 地中海文明の発展 4. 中国文明と東アジア 5. 宗教のおこり	○	○	○	人類の進化の過程や各文明の特徴、文明によって生み出されたものについて理解する。三大宗教について、それぞれの相違点について理解する。 古代の文明が他の地域に与えた影響や、文明間の関係性について考え、それらを対比的にまとめて表現する。中国文明が東アジア諸国に与えた影響について、具体的に指摘する。三大宗教の広がりについて、現在の宗教の分布と関連づけて考える。 人類の進化の過程や古代文明、三大宗教について、その後の歴史の展開を意識し、現代とのつながりを考察する。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 2編 世界のさまざまな地域 1章 世界各地の人々の生活と環境 (4時間)	1. 雪と氷の中で暮らす人々 2. 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 3. 温暖な土地に暮らす人々 4. 乾燥した土地に暮らす人々	○	○	○	・写真や映像資料、雨量図などから、日本と比較し、その違いや共通点を読み取るができる。 ・寒帯、冷帯、温帯、乾燥帯の気候で生活している人々の暮らしについて自分たちの生活と比較しながらその特色を考察することができる。	発表 ノート ワークシート
	6月	【歴史】 2節 日本文化のあけぼの(6時間)	1. 縄文文化の誕生 2. 稲作の広まりと弥生文化 3. 古墳とヤマト政権	○	○	○	縄文時代と弥生時代の技術や社会の特徴の差異について理解する。古墳時代におけるヤマト政権の成長について理解する。 環境の変化が縄文時代から弥生時代への転換をどのように促進したか考える。 ヤマト政権と古墳の形態や分布の関係について考察し、表現する。 日本列島における統一国家の形成過程について、縄文～古墳時代を通して考察し、説明する。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 2編 世界のさまざまな地域 1章 世界各地の人々の生活と環境 (4時間)	1. 熱帯の島で暮らす人々 2. 標高の高い土地に暮らす人々 3. 温暖に見られるさまざまな気候 4. 人々の生活に根づく宗教	○	○	○	・熱帯、高地の気候で生活している人々の暮らしについて自分たちの生活と比較しながらその特色を考察することができる。 ・世界各地の気候区分図、宗教の分布について理解することができる。	ワークシート 小テスト ノート
	7月	【歴史】 3節 律令国家の形成(8時間)	1. 聖徳太子の政治改革と飛鳥の文化 2. 律令国家への道 3. 律令国家の仕組みと人々の暮らし 4. 平城京と天平文化	○	○	○	聖徳太子の下での政治のあり方の特徴や、大化の改新で目指された国家像について理解する。白村江の戦いに敗れた後によりに律令国家の建設が目指されたか理解する。律令制の仕組みと地方支配のあり方について理解する。 国際交流が日本に与えた影響を考えたことについて、①遣唐使と聖徳太子の政治、②唐の成立と大化の改新、③白村江の戦いと天智朝～天武・持統朝の政治、④遣唐使と天平文化、それぞれの関係性から理解し、説明する。 日本の古代国家の特徴について、東アジア的な視点から考察し、中国文明との連関について説明する。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 アジア州 急速な都市の成長と変化 (4時間)	1. アジア州をながめて 2. アジア州の成長 3. 巨大な人口を支える中国 4. 都市化が進む東アジア	○	○	○	・変化に富む自然環境や、多様な文化が見られ、都市化が急速に進むアジア州を概観し、理解することができる。	発表 ノート ワークシート
	9月	【歴史】 4節 貴族政治と国風文化(4時間)	1. 平安京と弘仁・貞観文化 2. 院政政治と地方社会 3. 東アジアと国風文化	○	○	○	9世紀において律令制がどのように変質し、新しい土地支配の仕組みがどのようなものであったか、また文化の面でどのような変化がおこったのかについて理解する。 桓武天皇による「軍事」と「造作」の停止が、律令的な国制を変質し、帝国型の国家構造が目指されなくなったことと軌を一にしていることを理解する。また、国制の変化が、文化や宗教にも影響を与えたことを理解する。 国風文化について、遣唐使の停止によって文化の国風化が進んだと捉えるのではなく、大陸との往来が継続するなかで、中国文化を前提として形成されたことを理解する。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 アジア州 急速な都市の成長と変化、ヨーロッパ州 国どうしの結合による変化 (3時間)	1. 急速に成長する南アジア 2. 資源が豊富な西アジア・中央アジア 3. ヨーロッパ州をながめて	○	○	○	・写真やグラフなどの資料から、インドの工業発展や人口増加の様子と問題点、西アジアや中央アジアの国々が鉱産資源に頼っていることを理解することができる。 ・ヨーロッパ州には、民族を基にした小国が多いこと、地域により異なる農業が盛んなことなどを概観し、ヨーロッパ統合の背景を理解することができる。	発表 ノート ワークシート
	10月	【歴史】 第3章 中世の日本 1節 中世社会の成立(9時間)	1. 荘園の成立と武士の登場 2. 院政と武士の成長 3. 鎌倉幕府の成立と執権政治 4. 武士の日常・民衆の生活 5. 鎌倉時代の文化	○	○	○	武士が関わった政争と、それが武家政権の興亡につながったことを理解する。 十字軍やモンゴル帝国の領土拡大により、東西ユーラシアの交流がさかんになったことを理解する。 武家政権と朝廷との関係、時期区分しながら表現する。 仏教で新たな教えが生まれた要因について、社会情勢をふまえて考察し、表現する。 阿比河荘など相論の発生した荘園を題材に、実際に行われた裁判を想像しながら、それぞれの立場に立って自己の権利を守るための主張や解決策による利害を考察する。	ワークシート 小テスト ノート
		【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 ヨーロッパ州 国どうしの結合による変化 (3時間)	1. ヨーロッパ統合の動き 2. 持続可能な社会に向けて 3. EUが抱える課題	○	○	○	・ヨーロッパ州が統合を進めてきたことを、国境をこえた交通網や通商・買い物、共通通貨などのさまざまな資料を関連付けることで読み取ることができ。 ・EU各国の一人あたりの国民総所得や、ヨーロッパに居住する外国人の出身地の主題図から、EUが抱える課題を読み取ることができ。	発表 ノート ワークシート
11月	【歴史】 2節 武家社会の成長(4時間)	1. モンゴルの興隆と鎌倉幕府への失望 2. 南北朝の動乱と室町幕府の成立 3. 東アジアと日本の国際関係	○	○	○	戦乱の影響から幕府権力が安定しなかったことや、産業の発達から民衆が自立したことで自力救済の考えが広がり、各地で一揆が結ばれたことを理解する。 東アジア海域のなかで多くの貿易船が往來したことや、周囲との交流のなかで育まれた琉球やアイヌの文化の特徴を理解する。 南北朝の動乱や応仁の乱といった戦乱が、なぜ守護大名への成長や戦国大名の出現といった変化につながるのかを思考し表現する。 日明貿易において勘合を用いるようになった理由を思考し、他の時代の貿易との相違点を表現する。 東アジア全体やユーラシア大陸全体など、視点を変えた複数の地図を用い、日本や琉球、アイヌのおかれていた状況を考察し表現する。	ワークシート 小テスト ノート	
	【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 アフリカ州 国際的な支援からの自立に向けて (3時間)	1. アフリカ州をながめて 2. アフリカの産業と新たな開発 3. 発展に向けた課題	○	○	○	・アフリカ州で顕在化している地学的課題の影響や要因を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察する。 ・アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	発表 ノート ワークシート	
12月	【歴史】 2節 武家社会の成長(5時間)	4. 産業・流通の発達と都市・農村の変化 5. 応仁の乱と戦国大名 6. 室町時代の文化	○	○	○	戦乱の影響から幕府権力が安定しなかったことや、産業の発達から民衆が自立したことで自力救済の考えが広がり、各地で一揆が結ばれたことを理解する。 東アジア海域のなかで多くの貿易船が往來したことや、周囲との交流のなかで育まれた琉球やアイヌの文化の特徴を理解する。 南北朝の動乱や応仁の乱といった戦乱が、なぜ守護大名への成長や戦国大名の出現といった変化につながるのかを思考し表現する。 日明貿易において勘合を用いるようになった理由を思考し、他の時代の貿易との相違点を表現する。 東アジア全体やユーラシア大陸全体など、視点を変えた複数の地図を用い、日本や琉球、アイヌのおかれていた状況を考察し表現する。	ワークシート 小テスト ノート	
	【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 北アメリカ州 多くの人をひきつける地域 (4時間)	1. 北アメリカ州をながめて 2. 巨大な農業生産力と移民 3. 巨大な工業生産力 4. 新しい産業と生活文化	○	○	○	・北アメリカ州に暮らす人々の生活をもとに、各州の地域的特色を大観し理解させ。 ・北アメリカ州で顕在化している地学的課題は、それが見られる地域の地学的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。	発表 ノート ワークシート	
1月	【地理】 2編 世界のさまざまな地域 2章 南アメリカ州 開発の進展と環境問題 (3時間)	1. 南アメリカ州をながめて 2. 自然環境と共生する生活 3. 開発の進行と影響	○	○	○	・南アメリカ州で顕在化している地学的課題の影響や要因を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察する。 ・南アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	発表 ノート ワークシート	
	【歴史】 2編 世界のさまざまな地域 2章 オセアニア州 強まるアジアとの結び付き (3時間)	1. オセアニア州をながめて 2. 貿易を通じた他地域とのつながり 3. 人々による他地域とのつながり	○	○	○	・オセアニア州に暮らす人々の生活をもとに、各州の地域的特色を大観し理解させ。 ・オセアニア州で顕在化している地学的課題は、それが見られる地域の地学的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。	発表 ノート ワークシート	
3 学期	2月	【地理】 1編 世界と日本の姿 2章 日本の姿 (8時間)	1. 日本の位置 2. 日本と世界の時差 3. 日本の領域的特色 4. 日本の都道府県	○	○	○	・日本の国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	発表 ノート ワークシート
	3月	【地理】 3編 日本のさまざまな地域 4章 地域の在り方 (4時間)	1. 諸地域の課題を見つける 2. 課題を調査する 3. 要因を考察する 4. 解決策を構想する	○	○	○	・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解する。 ・地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地学的な課題について多面的・多角的に考察・構想・表現する。	発表 ノート ワークシート